



教務部	学務課	【学びの設計】「社会で生きる力」を育む、魅力的なカリキュラムづくりを推進する。	各科の特性を活かした教科や行事のつながりが見える年間学習計画の作成に努める。				
			ICTを効果的に組み込んだ、一人ひとりに合った学びの推進を図る。				
		【授業の充実】「わかった！できた！」を叶える、授業づくりをサポートする。	生徒の声を次の学びに生かす「授業アンケート」の実施と計画改善に取り組む。				
	情報課	生徒の自立や社会参加につながるICT機器指導の促進を図るため、職員への情報提供や機器の貸出を推進する。	視覚障がい者の自立に役立つICT機器に関する情報を収集し、職員へ提供する。				
			ICT機器や関連する入出力機器の貸出を行うと共に、使用方法や指導方法に関する助言を行う。				
		授業や校務等のICT機器の利用を円滑に進めるため、職員への支援体制を整える。	ICT支援員の活用を推進するため、来校日や支援内容例の周知を徹底する。				
			生徒へのICT指導力の向上を図るため、ICT支援員と連携して職員研修を実施する。				
	連携推進課	関係機関と連携し、地域の学校や視覚障がいのある生徒・保護者等に対する教育相談等を通して、センター的機能を発揮する。	センター的機能を推進し、潜在的な必要支援を見つけ、適切な教育的支援や相談活動を行う。				
			学校PR動画を効果的に活用し、視覚特別支援学校の情報を発信する。				
		本校の良さについてSNS等を活用し戦略的に発信する。	YouTube、X、HP、学校新聞を効果的に活用し、本校の良さを発信する。 広報媒体や発信内容を精選・再構成し、効果的な情報発信を行う。				
	進路指導課	生徒が夢や希望を見だし、たくましく社会に向かうための「キャリア教育の充実」を図る。	本科生徒・保護者・理療科生徒に寄り添う進路指導を行うと同時に、キャリア教育の充実を目指した学習会などを実施する。				
			各学科・寄宿舎と連携しながら、社会参加で求められる「衣食住+消費生活」に関する情報提供を行う。				
生徒の夢や希望を実現する「組織的・系統的な進路指導の充実」を図る。		各学科・寄宿舎と横断的に進路情報の共有を図り、生徒の希望に応じた進路実現の支援体制を強化・充実する。 在学時だけでなく、卒業後も進路先と連携を図りながら、組織的・系統的に進路指導を行う。					
生徒指導部	社会とつながり可能性を広げる機会の充実を図る。	生徒会・自治会の自主的・自発的な活動を促し、支援する。					
		行事や委員会活動を通して、他者と協力して取り組む活動の設定や、高等学校等との交流・共同学習を充実させる。					
	安心・安全に過ごせる学校風土の醸成を図る。	「敬愛」「礼節」の理念を基盤に、互いに共感し合える人間関係を育むための支援を行う。 SNSに関する情報提供を行い、いじめ問題や現代的な課題に対応するとともに、外部専門家等とも連携した生徒支援体制の充実を図る。					
保健課	生徒の心身における健康の保持増進を目指す。	スクールカウンセラーによる心理相談や心の健康教育、職員研修の充実を図る。					
		保健体育委員会と連携しての情報発信や、食に関する指導の全体計画の作成と活用を通して食育を推進する。					
	危機管理・安全管理に対する意識を高めるとともに、安心安全な環境づくりに取り組む。	急病やけが等の緊急時に適切な対応ができるように、校内の体制を整える。 危険箇所の早期発見・対応のため、定期的に安全点検を実施する。					
研修推進課	生徒のニーズに応える質の高い授業を提供するために、専門性の継承と全教職員の指導力向上を目指した職員研修の充実を図る。	自立活動充実を目指し、課題関連図等作成を軸とした演習形式の研修を実施する。					
		若年教員を新転任者研修等の講師として登用し、専門性の定着(OJT)を推進する。					
	教職員一人一人が生徒に信頼される授業づくりを実践できるよう、互いに高め合う校内研究を推進する。	指導の充実のため、自立活動における好事例の紹介や目標設定に関する演習を計画する。 個別最適な学びの実現と教科横断的な視点に立った指導の展開を軸とし、全教員の授業実践力を高める。					

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

--


評価項目以外のものに関する意見

--